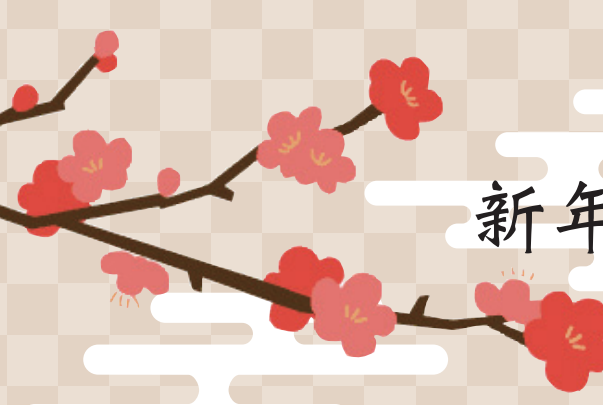




新年のごあいさつ



蒲郡市長
鈴木 寿明

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日ごろから市政に対するご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年の10月に行われました市長選挙におきまして、市民の皆様のご支援を賜り、蒲郡市第8代の市長に就任させていただきました。日々さまざまな会議やイベントに出席させていただく中で、市長としての重責を改めて感じ、身の引き締まる思いがしているところでございます。

私が考えるこれからのまちづくりは、蒲郡市民8万人が同じ方向を見つめ、いくつかの課題の解決に知恵を出し合い、市民一人ひとりが希望と幸せを実感できるまちを目指したいと考えております。

それを実現するためには、誰からも親しまれている「蒲郡市民憲章三つの誓い」にある、ひとづくり・いえづくり・まちづくりを市政の原点として、対話と会話を充実させながら「チーム蒲郡」で市政に取り組んでまいります。

まず、「ひとづくり」では、「子どもファースト」という理念のもと、地域コミュニティが子どもたちを育て、将来を担う子どもたちの郷土愛を育ていけるように、子育てしやすい最適な環境整備に取り組んでまいります。

また、高齢者や障がい者の方が活躍できる社会を構築するため、生涯教育における文化やスポーツ活動などの生きがいづくりを図ってまいります。そして、女性や若者が活躍できる社会にするため、行政の立場で働き方改革の推進に取り組んでまいります。

次に、「いえづくり」では、市民一人ひとりが、健康でいきいきと輝きながら暮らしていけるよう、地域の特色を活かした魅力あふれる海や山などの観光資源を磨き上げる中で、自主的な健康づくりの推進と医療の充実を図り、疾病の早期発見と予防に積極的に取り組んでまいります。

また、南海トラフを震源とする地震の発生が危惧される中、自主防災組織の整備支援とともに、災害時の避難が困難となりそうな道路や河川の危険箇所をしっかりと把握し、改修することで防災・減災に取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、「まちづくり」では、農業・水産業の振興、商工会議所と連携した魅力的で安定した仕事づくりの推進に加え、本市の特性や地域資源を活かした新産業の創出、若者世代の起業支援、地元企業への積極的な支援と育成にも力を入れていきたいと考えております。

また、ロケーションサービスや特産品の開発など、市民が自発的に行っているシティセールスプロジェクトを官民一体となって展開し、国内外に向けた発信力の向上を目指してまいります。

これからは、官民一体となった「ワンチーム」のもと、蒲郡市の発展に向けたまちづくりを進めてまいります。

最後になりますが、今年一年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますことを祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

